

令和2年度わが校のストップいじめアクションプラン ～いじめの未然防止、早期発見・早期対応～

日野町立
西大路小学校

《目指す学校》 みんなの笑顔がいっぱいあふれる西大路小学校

子どものアクション

- いじめのない明るく楽しい学校・学級づくりを進める
 - ・気持ちのよい挨拶を心掛ける。
 - ・相手の気持ちを考えた言葉遣いをする。
 - ・人にされていやなことはしない。
 - ・自分にできることを考え、行動に移す。
- 「人権」について学ぶ
 - ・道徳や学級活動等でいじめや人権について学習する。
 - ・わたむき集会や人権週間等で人権について考え、決めたことを守る。
- 児童会・学級活動に積極的に取り組む
 - ・ふれあい・仲良くなる活動
 - ・わたむき集会（学期に1回）
 - ・たてわり活動
 - ・代表委員会を中心に学校生活を見直す。（挨拶運動・いじめをなくす啓発活動）

家庭や地域と連携したアクション

- ストップいじめアクションプランの説明・啓発研修会の開催
 - ・PTA総会、地区別懇談会、学級懇談会
- OPTAとの連携
 - ・親子のふれあいを大切にしたい取組の推進
 - ・人権に関する研修会の実施
 - ・いじめや人権に関する学校評価の実施
- 保護者との連携
 - ・教育相談体制の活用
 - ・保護者との情報共有を密に信頼関係を築く。
- 学校評議員会での協議の推進
 - ・学校の現状説明に加えて、いじめ問題への取組に関して協議する。
- 学校だより・HP等での学校の取組の紹介
 - ・開かれた学校づくりを目指して取組や学校評価の結果等の紹介・報告をする。

教職員のアクション

- 『いじめを絶対許さない！』学校づくりに向けての共通理解・共通実践を推進する
 - ・いじめ問題に対する理解の深化や実践力の高まりを目指し、「ストップいじめアクションプラン」に基づく研修会を開催する。
 - ・問題の共有、全校的対応等、「一枚岩」になって組織的に取り組む。
 - ・教職員のいじめに対する姿勢を児童・保護者に宣言し示す。
- 内面に迫る児童理解=SOSを見逃さない体制づくりで早期発見・早期対応
 - ・生活アンケート（年間3回 毎学期実施）
 - ・個人面談の実施（担任：毎学期実施 養護教諭：i-checkの結果をもとにした「健康相談」の実施）
 - ・「子どもを語る会」の実施（年度初めと毎月の職員会議）
 - ・休み時間や給食指導等、教科外時間の子どもとの触れ合い、観察。
 - ・好ましい人間関係の構築
 - ・一人ひとりが喜びと充実感にあふれた学校・学級作りの主人公になる取組
- 未然防止に向けた取組
 - ・わかる授業に努め、授業を通じて自己存在感・共感的人間関係・自己決定力を育む。
 - ・組織体制の強化。生徒指導主任・人権主任・養護教諭・管理職によるミーティングの実施。

現状と課題

- ・少人数で関係が固定化していることによる人間関係の難しさがある。一旦崩れると修復が難しい。
- ・多様化する問題に対応するため、常に教職員の人権に対する鋭い感性を磨く必要がある。